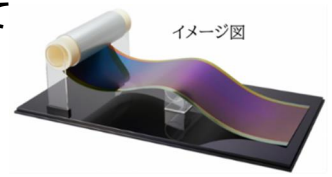


次世代型太陽電池先行導入事業の進捗状況について



1 概要

再エネ導入拡大に向け、適地不足解消のカギとなる最新技術「ペロブスカイト太陽電池」を全国に先駆けて県有施設に導入し、社会実装モデルを構築するとともに、県内事業者の育成や環境学習を目的とした施工見学会の開催や普及啓発展示を実施する。

①	ペロブスカイト太陽電池導入(3施設)	▶ 琵琶湖博物館・八幡工業高校・守山北高校 ▶ 屋根構造別の施工方法や耐荷重の検討・検証
②	県内事業者向け施工見学会開催	▶ 施工事業者による完成現場の案内と説明 ▶ 設備の特性・今後の展望などの紹介
③	普及啓発展示	▶ 模型展示、紹介パネル作成 ▶ モニター設置(発電量・環境学習用スライド投影)

※ 見学会は琵琶湖博物館で実施、博物館での展示も予定

2 導入施設

形状・耐荷重等の理由から既存の太陽光発電設備が設置できない屋根を3箇所選定

施設名	設置場所	導入面積※	導入容量
琵琶湖博物館	うみっこ広場	70m ²	5kW
八幡工業高校	体育館	160m ²	12.5kW
守山北高校	体育館	160m ²	12.5kW
		390m ²	30kW



香椎浜小学校体育館(福岡市)

選定条件

- ①従来型では設置困難な低耐荷重の屋根
- ②話題性のある施設(琵琶湖博物館)
- ③横展開が可能な汎用的施設(体育館)
 - ㊦屋根の状態(10年以内に改修予定なし)
 - ㊧三角屋根(施工難易度が低い)
 - ㊨話題性(工業高校・みらい共創科新設)

※ 導入面積は想定最大面積であり、国補助の採択状況・ペロブスカイト太陽電池の供給状況により、減少の可能性あり

3 スケジュール

主な予定	備考
公募開始 (9/4)	国補助要綱に基づき公募(対象設備・耐荷重要件など)
事業者選定 (9/24)	
契約締結 (11月上旬)	国補助金の採択の状況による(採択後、契約を締結)
設置工事 (12月中旬～1月下旬)	施設の利用状況に配慮して施工予定(冬休み期間など)
見学会 (2月上旬)	1回開催(県内事業者に対し、事前に通知予定)

※ 国補助金手続きに沿った最短スケジュールであり、ペロブスカイト太陽電池の供給状況などにより、遅延する可能性があります。